

会長 **幹事長** **会計** 志清会は、あきる野市議会では志を同じくする11名の議員による政策グループです。 ※上段：氏名、年齢
中段：住所、当選回数 / 下段：担当

										
ほりえ たけし 堀江 武史(43)	むらの えいいち 村野 栄一(54)	よしざわ ゆたか 吉澤 雄孝(63)	こごもり としひと 子籠 敏人(48)	あまの まさあき 天野 正昭(64)	なかじま ひろゆき 中嶋 博幸(54)	くぼしま せいいち 窪島 成一(67)	ひはら しょうご 日原 省吾(56)	なかむら かずひろ 中村 一広(53)	うすい けん 臼井 建(52)	うらの はるみつ 浦野 治光(66)
▽ 淵上 5回	▽ 二宮東 3回	▽ 伊奈 1回	▽ 菅生 4回	▽ 小和田 3回	▽ 留原 3回	▽ 平沢 2回	▽ 野辺 2回	▽ 秋川 2回	▽ 秋留 2回	▽ 草花 1回
都市整備	公共交通等	医療・福祉等	子育て・教育等	農林・獣害	地域防災	生活・高齢者	デジタル等	商工業	広報・行財政等	環境経済

コロナウイルス感染症緊急対応要望書を提出

去る令和3年8月25日、私たち志清会は**第7次コロナ対策要望**を市へ提出しました。

これは、自宅療養者などへの支援を強化するため、「**自宅療養中の市民へ生活必需品を届ける制度の創設**」を要望するものです。

引き続き、皆様の声をしっかりと受け留め、コロナ対策に全力を挙げて参ります。

志清会では、これまで**54項目のコロナ対策要望**を行ってきました。以下に主なものを抜粋してご紹介します。

提案し、実現した主なもの

経済活性化

- ・プレミアム付きデジタル商品券事業、住宅改修助成事業など
- ・ビスタにおける事業者向け特別相談窓口の延長

子ども・教育

- ・修学旅行のキャンセル代負担、修学旅行代替事業への補助金
- ・子どもの食の確保事業への支援
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金（再支給含む）
- ・児童生徒1人1台のタブレット端末及び校内LAN環境の整備
- ・各図書館への図書除菌機の設置

広報

- ・新しい生活様式についての積極的な市民への周知
- ・ビスタで協力金申請のサポートを実施していることを積極的に市民へ周知
- ・固定資産税などの減免についての広報

医療・福祉

- ・医療機関や福祉関係施設への支援（マスクなど）
- ・保育施設などへの応援給付金（1人3万円上限）
- ・秋川流域PCRセンター開設
- ・社会福祉施設従業員等へのPCR検査実施など
- ・介護事業所等事業継続支援給付金
- ・医療従事者への支援金、医療機関への協力支援金給付
- ・公立阿伎留医療センターへの財政支援
- ・自宅療養者へのハンドブック作成
- ・接種会場の感染対策強化、会場への移動（タクシー）補助
- ・ワクチン接種についての適切な実施と周知
- ・自宅療養者への生活必需品の支援

防災

- ・避難所運営マニュアル、避難所開設キットの作成

デマンド交通の実現に向けて大きな一歩です

私たち志清会は、**高齢者などの外出を助ける交通手段を実現することを最重要テーマ**として活動を行って参りました。

このたび、その成果である「**デマンド交通(チョイスコ)**」の実証実験についての方向性が、**第12回あきる野市公共交通検討委員会**で承認されました。さらに、9月議会で補正予算が可決し、市として

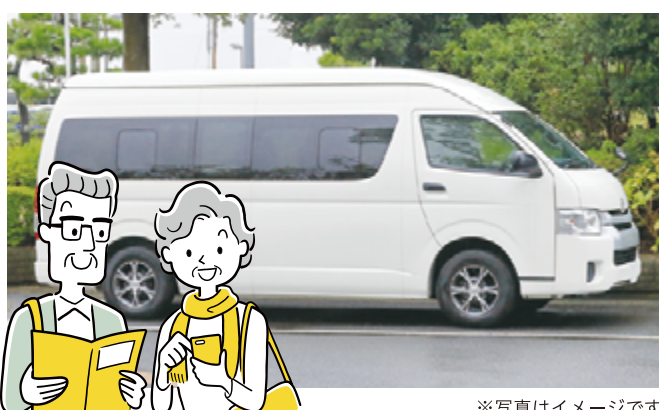
実証実験を行うことが決まりました。実験の方向性としては以下を予定しております。

実施主体	S&D 多摩ホールディングスグループ
対象エリア	引田・淵上・代継地域(出雲・熊野通り以南)と網代地域
利用料金	200円～300円
期間	1年間(令和4年4月開始予定(早まる場合あり))
予算	市民への周知費用 (運行経費はトヨタモビリティ基金を活用)

今後は、この方向性を踏まえ、**実証実験の実施に向けた調整**が行われます。志清会は、この実証実験が円滑に実施できるよう支援し、市民の方々の交通利便性向上のため努力を続けてまいります。

志清会広報誌
バックナンバー

デマンド交通について
ご提案していた
第39号はこちらから

※写真はイメージです

草花大橋の早期開通に向けて

令和3年8月26日、志清会のメンバー11人全員で、田村利光都議、あきる野市の担当者とともに、草花地域を南北に走っている東京都施行の都市計画道路3・3・9号線について視察を行いました。今回は草花氷沢橋交差点から草花大橋を経て五日市街道までの間を確認いたしました。

東京都の担当者からは、各視察場所において、用地取得の状況と計画、築造工事の予定などについて説明があり、現時点での課題を整理することができました。これを受け、東京都に対して一日も早い草花大橋の開通に向けて、未整備区間の用地取得と工事を加速させるよう、再度の働きかけを行いました。



下菅生橋の復旧に向けて

令和3年8月26日の現地視察では、老朽化により落橋となってしまう菅生地区の下菅生橋の現場についても、志清会の全員で訪れ護岸の状況などを確認するとともに、復旧へ向けた協議を田村利光都議やあきる野市の担当者らと行いました。

この下菅生橋は、架け替え工事が予定されている鯉川橋に接続している橋でもあり、復旧に向けては鯉川橋の架け替え工事の施行者である東京都とも連携して進める必要があります。

今回の視察では、下菅生橋の復旧に向けた工法などについて協議し、東京都に工事を働きかけていくことなどを確認しました。



マイナンバーカード活用の山梨県甲府市をオンライン視察

国では9月1日にデジタル庁が発足し、今後、マイナンバーカードの利用拡大が更に進むと思われます。この国の動きに対して地方自治体の中にはマイナンバーカードの普及や利用拡大をはかるために、新たな行政サービスを始める事例が出てきました。

そこで8月27日、志清会では、いち早くマイナンバーカードを活用して独自のポイント給付事業を始めた山梨県甲府市をオンラインで視察し、その仕組みや取組状況などを調査しました。

甲府市のポイント給付事業は、マイナンバーカードを持っている市民が、市で行っている健康づくり事業やエコ活動などに

参加すると、1人あたり原則として最大5,000円相当のポイントが付与するもの。

このほか消防団活動にもポイントが付与するといった特徴もあり、この甲府市の事業は国のモデル事業にも選ばれています。甲府市ではこの事業の開始以降、事業への参加者やマイナンバーカードの新規取得も増えているそうです。

志清会では今後も国の動向を注視しつつ、マイナンバーカードの普及や利用拡大について研究していきます。



志清会の実績

皆様からお寄せいただいたご意見を実現していきます



市道秋留83号線の整備について

窪島 成一がご紹介いたします。

シルバー人材センターの東側を南北に走る市道は、道路幅員が狭いため、車両のすれ違いに民地内を通過している現状があります。

そのため、待避所の設置を要望したところ市は4か所の候補地を選定し、今後、地権者と交渉を進める予定で取り組むことになりました。



市道秋留83号線



待機児童の多い若葉児童館



学童クラブの待機児童解消に向けて

中村 一広がご紹介いたします。

あきる野市では、学童クラブの待機児童数が令和3年8月23日現在で79名（若竹31名若葉27名、五日市7名増戸14人）となっています。

学童クラブの待機児童解消に向けて今年度は、待機児童が多い若葉児童館

（西秋留小となり）の増床工事を行い40人増員することになり、来年度から受け入れ人数が増加することになりました。

今後も引き続き、学童クラブの待機児童解消に向けて、会派として要望してまいります。

政策・活動はホームページでもご覧いただけます。

自由民主党 志清会

お問い合わせ先

070-4342-6863

志清会

検索

<https://www.akiruno-jimin.tokyo/>

